

①講師 田村（哲）副理事長



②司会北部学園高田専門員/石橋専門員  
(石橋幹事)



映像でめぐる北部地区のあゆみ ゆうゆう大学北部学園講座 レジメ

2021・11・9（火） 9：30～11：30 講師 田村哲三

はじめに

1、旧石器時代

流山には3万年前から人が住む（69遺跡） 当時は寒冷期 平均気温6度（今より7度低く北海道十勝と同じ） 樹木は針葉樹林が多く木実や動物が少ない →食糧難 移動生活 遺跡・初石、中野久木、西深井

2、縄文時代

約13000年前から 縄目の文様の土器 遺跡140（増加する） 1万年前から温暖化、6千年前ピーク 海面が上昇（5m） 縄文海進（市内の低地は海） 水深浅い入江 海や野の食料が豊富 集団で定住 あさぎが丘（市内最大の集落） 貝塚（市内22） 上新宿・上貝塚・中野久木、江戸川台西他 クイズ 千葉県は○だった

3、弥生時代

2300年前から 寒冷期に入る（海が後退、食糧難） 稲作 市内遺跡少ない 大畔遺跡

4、古墳時代

東深井古墳群（40→13基） 埴輪や刀子、魚、鶏など（鶏は目覚まし時計） 中野久木、北中の南

5、奈良時代

大宝律令（国郡里制）下総国葛飾郡 里の下に坪（東西深井） 東深井中ノ坪（製鉄炉） 江戸川沿い高台 万葉集 鳩鳥（におどり）の葛飾早稲をにえすともその愛（かな）しきを外にたてめやも 北小屋香取神社

6、平安時代

駒形神社 源義経伝説

7、鎌倉時代

安蒜家墓地の板碑

8、戦国時代

鎌倉公方足利氏×関東管領上杉氏（千葉本家×分家） 古河公方×小弓公方（流山が戦場） 小金城×関宿城 まぼろしの深井城 クランク道 食い違い道 秀吉の小田原攻め

9。江戸時代

利根川の東遷と新田開発 江戸川の直線化（村が分断、渡し場） 台地の奥は原野、小金牧（美原、江戸川台）、美原は新田 野馬土手 オランダさま 馬の払い下げ 日光東往還（日光街道）と大名行列 村の仕組み（村三役・寺請け制度）

10、明治時代～

県の誕生 学校の誕生（印旛官員共立学舎） 深井小学校（不動堂→浄観寺→福性寺）→新川小学校 M8・入学男子47人、女子2人 途中退学多い（童謡赤とんぼ） 明治22年、町村合併（新川村・北部17か村） 明治23年、利根運河完成 米俵2俵馬で運ぶ 明治44年、東武野田線（初石、運河） 昭和26年、江戸川町→流山町 高速道、TX（遺跡発掘）

# パワーポイントによる解説（田村副理事長）



③講義 周辺の遺跡



④講義 北部地区の地形



⑤講義 おらんだ様



⑥受講生（30名）



# 田村副理事長講義内容の一部

## 縄文時代⑤ ◎江戸川台周辺の地図

- ④中野久木谷頭遺跡（あさぎが丘周辺）縄文時代  
直径160mの大規模環状集落、竪穴式住居跡195棟
- ⑤中野久木古墳（中野久木散策の森）古墳時代  
円形周溝墓
- ⑥平方貝塚（香取神社境内等）縄文時代  
小規模の貝殻捨て場所
- ⑦小谷貝塚J地点（江戸川台西4丁目）縄文時代  
石棒他
- \*○は口頭説明



江戸川台周辺でも多くの遺跡が発掘されています

## 奈良時代① ◎中ノ坪遺跡（緑地）の付近図と製鉄炉



中ノ坪からは奈良時代初めの製鉄炉と集落跡が発見されました。製鉄技術を持った渡来系の集団が来て、原材料の確保のできる場所に炉を作り、原料が尽きると他に移動したと考えられます。

## 縄文時代⑥ ◎中野久木谷頭遺跡全体図



5千年前頃になると大規模な集落もできます。中野久木の谷頭遺跡からは195軒もの住居跡が見つかりました。

鶏は朝を告げる鳥。今の目覚まし時計の役割を果たしていたのです。魚は鮭の形をしています。当時、周辺の川は海と繋がっていたので鮭も遡上していたのでしょ



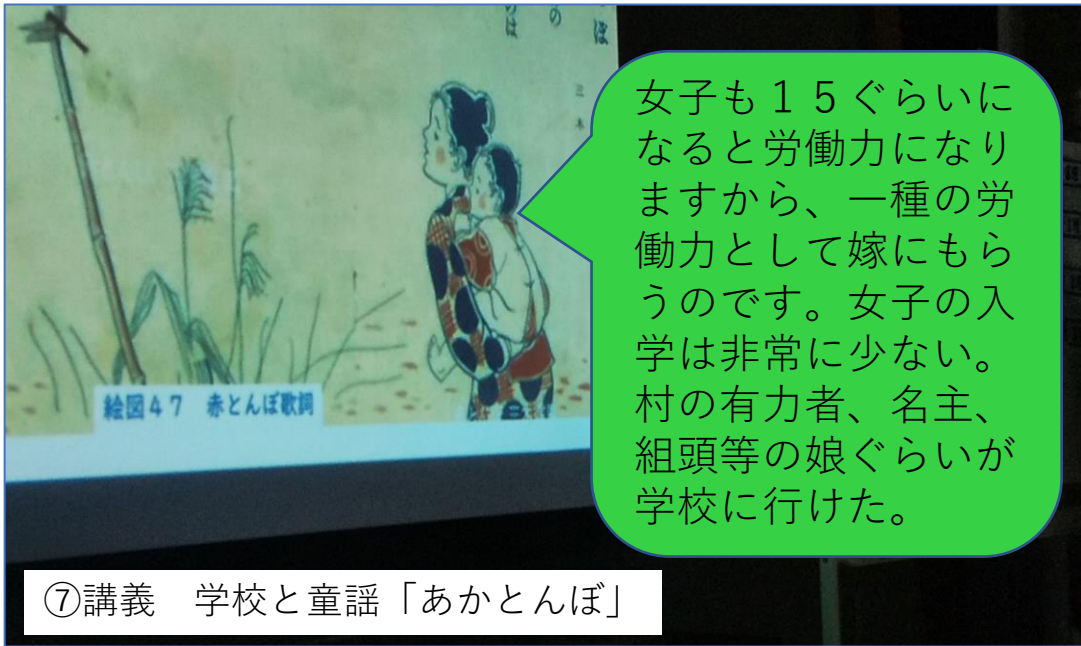
## 古墳時代① ◎東深井古墳の位置地図



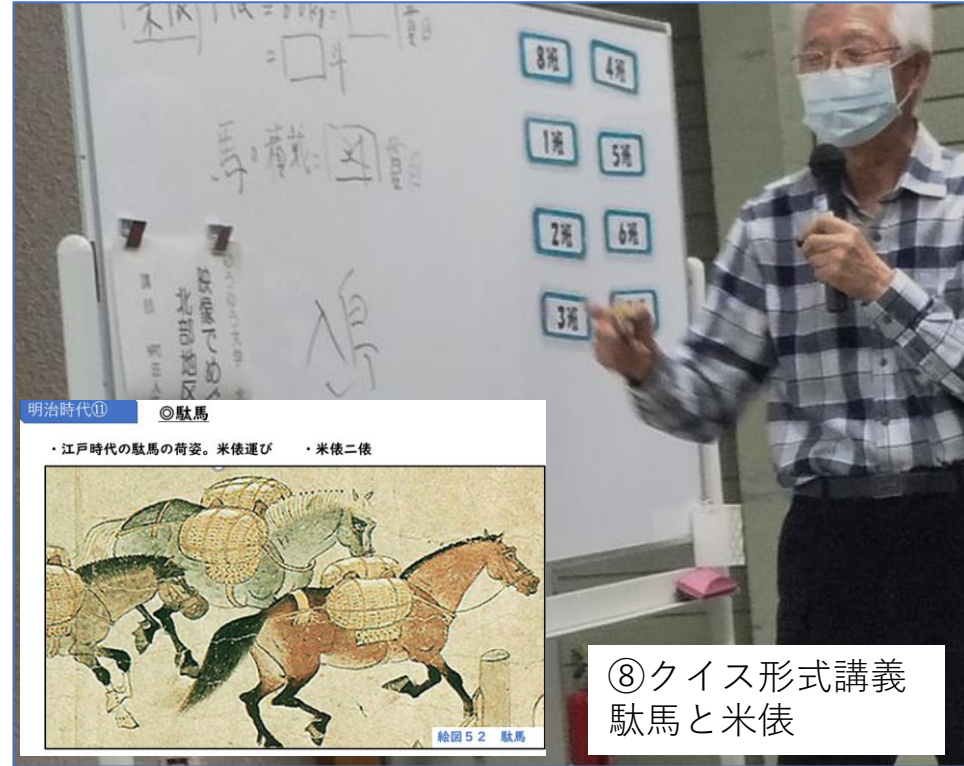
ガイドの会にて、東深井小の学童クラブを引率（説明に熱心に聴き入る学童たち）

以前、ガイドの会にて東深井学童クラブ引率した事も紹介



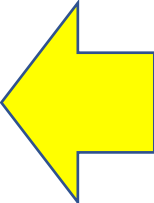
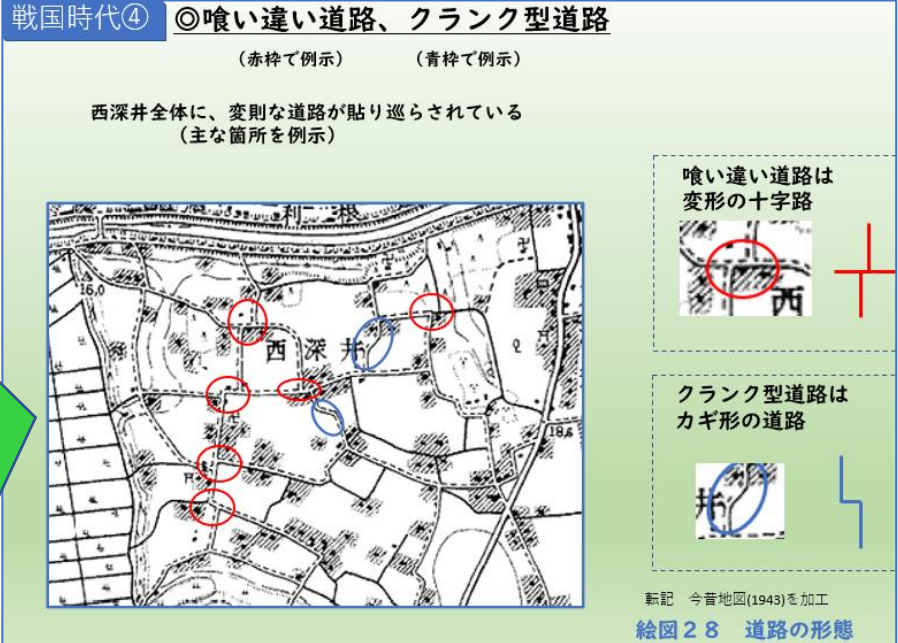


⑦講義 学校と童謡「あかとんぼ」



⑧クイズ形式講義 駄馬と米俵

クランク道、食い違い道。西深井小学校の北に館があり、北のはずれ運河際の不動堂周辺や西のジョウエン坊、庚申山あたりに戦闘用の砦があったと考えられる。



⑨講義を熱心に聴く受講生





絵図22 平方香取神社写真



社殿新築記念碑（平成元年七月）  
 下総 流山の北西に位置する平方は北方に利根運河が 西方には清流江戸川が流れ 富士を眺望する景勝の地で 鳩島の葛飾早稲を饗すとも 其の愛しきを外に立てめやも と万葉のいにしえからうたわれている葛飾早稲発祥の地として知られ 五穀豊穡に恵まれた緑豊かな郷土となっています・・・

旧平方村の鎮守様

- ・創建時期 不詳
- ・祭神 経津主命
- ・旧村社
- ・疱疹神塔、庚申塔等

\* 写真掲載はガイドの会内限り

\* 休憩時間中も、田村さんへ学生の鳩原（にゅうはら？）さんから、鳩（におどり）の質問等があった

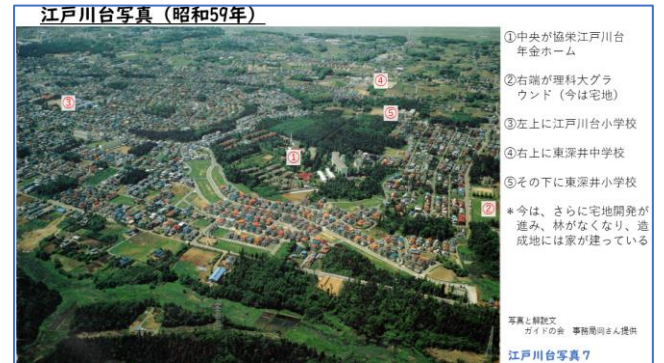
\* 北部地区の昭和の写真等（休憩時間を利用したオートスライドショー）

江戸川台駅の街頭テレビ

昭和36年  
 (1961)



⑩受講生



江戸川台写真（昭和59年）

- ①中央が協栄江戸川台年金ホーム
  - ②右端が理科大グラウンド（今は宅地）
  - ③左上に江戸川台小学校
  - ④右上に東深井中学校
  - ⑤その下に東深井小学校
- \*今は、さらに宅地開発が進み、林がなくなり、造成地には家が建っている

写真と解説文  
 ガイドの会 事務局員さん提供  
 江戸川台写真7

西深井小学校 開校式・入学式写真昭和54年（1979）



4月9日、新川小学校から分離し、東深井小学校区の一部を編入して開校した。  
 開校当時、17学級 641名の児童が在籍した。  
 転記 博物館企画展「新収蔵資料展」から